

令和4年度第1回 函館市企業局経営懇話会 会議録

【開催日時】 令和4年8月30日（火） 午前10時00分～午前11時35分

【開催場所】 函館市企業局庁舎4階大会議室（アクロス十字街）

【次第】

- 1 開会
- 2 企業局長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 企業局管理職紹介
- 5 説明事項
 - (1) 企業局経営懇話会について
 - (2) 企業局の組織と主な業務について
 - (3) 事業の概要について
 - ア 水道事業
 - イ 下水道事業
 - ウ 交通事業
- 6 議 事
 - (1) 会長の選出
 - (2) 副会長の選出
 - (3) 函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの中間評価および今後の取り組みについて
- 7 その他
- 8 閉会

【出欠状況】

■委員（出席12名）

（○は出席，敬称略）

所属団体	氏名	欠	所属団体	氏名	欠
公立ほこだて未来大学	木村 健一	○	函館東商工会	畠山 晴一	○
北海道大学名誉教授	三浦 汀介	○	連合北海道函館地区連合会	黒瀧 浩二	—
北海道税理士会函館支部	半浦 明美	○	函館商工会議所	竹内 正幸	○
北海道電力ネットワーク株式会社	喜多村 悟	—	函館水産連合協議会	吉村健太郎	○
函館市社会福祉協議会	佐藤 秀臣	○	函館地区バス協会	渡部 浩典	○
函館市女性会議	佐々木 香	○	函館湯の川温泉旅館協同組合	大桃 誠	—
函館市町会連合会	江頭 進	○	一般公募	山本 秀治	○
函館消費者協会	森元 浩	○			

■事務局（出席21名）

田畑企業局長

- ・ 管理部 万丈部長，臼杵次長，高野総務課長，武知経営企画課長，中村経理課長，川井料金課長，小辻収納・滞納整理担当課長，経営企画課4名
- ・ 上下水道部 伊藤部長，高木次長，川村管路整備室長，田原計画・管路担当課長，加地維持管理担当課長，佐野温泉等担当課長，西谷浄水課長
- ・ 交通部 小笠原部長，廣瀬次長，湊事業課長

開会前

経営企画課長

本日はご多忙中の所、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
私は、経営懇話会の事務局を担当いたします経営企画課長の武知と申します。
開会前ではございますが、委員改選後初めての会議ということで、会長選出までの間、私が進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
また、本日の懇話会におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、なるべく会議時間を短縮する進め方をしてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
なお、当懇話会の会議録につきましては、後日、公表となりますこと、先にお知らせするとともに、ご了承願います。

1 開会

経営企画課長

それでは、これより令和4年度 第1回 函館市企業局経営懇話会を開会します。

2 企業局長 あいさつ

経営企画課長

はじめに、企業局長 田畑 浩文からご挨拶を申し上げます。

企業局長

改めまして企業局長の田畑と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、皆様大変お忙しい中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。
また、皆様には、当経営懇話会の委員に再度ご就任、そしてまた、新たにご就任いただきましたことを、心から感謝を申し上げる次第でございます。
企業局は、水道、公共下水道、交通の3事業を運営しております。これらはいずれも市民生活や社会活動に不可欠なサービスを提供する重要なインフラでございます。
人口減少などによる収入の減少や、施設更新需要の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響など、各事業を取り巻く環境は大変厳しいものとなっております。
こうした中におきまして、私どもの使命は、安全で快適な市民生活の向上や地域の発展に貢献するため、健全な経営のもと各事業におけるサービスの提供を続けていくことでもあります。
企業局では、経営懇話会の委員の皆様からご意見を頂戴しながら策定した、平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間とする、上下水道そして交通事業経営ビジョンに基づき、各種対策に取り組み、健全な経営に努めているところでございます。
また、このビジョンにつきまして、昨年度で前期5ヶ年が終了しておりますことから、今年度は中間評価と今後の各種対策について整理を行い、経営ビジョンの改定を予定しているところでございます。
委員の皆様におかれましては、当局の事業について一層のご理解をいただくとともに、忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員紹介

経営企画課長

次に、本日、ご出席されております委員の皆様をご紹介いたします。お手元に、委員名簿と座席表を配付しておりますので、あわせてご覧願います。

(経営企画課長から、氏名読み上げによる紹介)

なお、本日、北海道電力ネットワーク株式会社 喜多村 悟委員と連合北海道函館地区連合会 黒瀧 浩二委員、函館湯の川温泉旅館協同組合 大桃 誠委員につきましては、所用により欠席されております。

4 企業局 管理職紹介

経営企画課長

続きまして、私ども企業局の管理職を紹介させていただきます。

(経営企画課長から、職名・氏名読み上げによる紹介)

以上で企業局管理職職員の紹介を終わります。

5 説明事項

経営企画課長

次に、次第5の説明事項の(1)企業局経営懇話会についてご説明させていただきます。

(1) 企業局経営懇話会
について

経営企画課長

〈資料説明〉(武知課長)

(2) 企業局の組織について

(3) 事業の概要について

経営企画課長

次の(2)企業局の組織と主な業務についてと、(3)事業の概要についてでございますが、新任の委員の皆様には事前にご説明をさせていただいておりますので、ご説明は省略させていただきます。資料は後ほど目を通していただければと思います。

また、資料の12ページから17ページは、令和2年度企業局各会計決算および令和4年度企業局各会計予算の概要となっております。こちらにつきましてもご説明は割愛させていただきます。

6 議事

(1)会長の
選出

経営企画課長

次に、次第6の議事でございます。

まず、(1)の会長の選出でございます。

会長の選出につきましては、当懇話会の設置要綱、第5条第2項に「会長および副会長は、委員の互選により定める」と規定しております。

どなたか、ご提案ございますか。

渡部委員

これまで当懇話会で会長をお務めになられた実績から、三浦委員が適任かと思えます。

経営企画課長

ただ今、渡部委員より、会長を三浦委員にというご推薦がありましたが、いかがでしょうか。ご賛同いただける場合は、拍手をお願いします。

各委員

(会場 拍手多数)

経営企画課長

拍手多数により、三浦委員に会長をお願いしたいと思います。

三浦委員は会長席へお移り願います。

(三浦会長 会長席への移動)

経営企画課長

それでは、早速ではございますが、三浦会長に一言ご挨拶と、この後の議事進行をお願いいたします。

三浦会長

皆さんおはようございます。会長を引き受けることになりました三浦でございます。どうぞよろしく願いいたします。本日は、最初の懇話会なので、一言ご挨拶申し上げます。

企業局の使命ですが、令和4年度の企業局運営方針によりますと、安全で快適な市民生活の向上や、地域の発展に貢献するため、健全な経営のもと、各事業におけるサービスの提供を続けていくこととなっております。

また、組織としては皆様ご存知の通りですが、管理部、上下水道部、交通部の3部体制のもと、水道、公共下水道、交通の3事業を運営しております。そして本部は、ここ企業局に置かれております。

ところで最近、三菱総合研究所のレポートに目を通したのですが、今年の世界経済は、オミクロン変異株の感染急拡大やロシアのウクライナ侵攻などで、回復のペースが鈍化しております。さらに中国のゼロコロナ政策による成長減速も世界経済に悪影響をもたらしております。

我々はこのような経済環境下にあります。振り返って函館市企業局について考えてみますと、経営する各事業において、人口の減少や高齢化の進行など、取り巻く環境は厳しいものとなっております。

将来に渡って市民に安心で満足できるサービスを提供していくためには、組織が一体となって、各種事業計画等に基づいた健全運営を進めていかなければなりません。そのために、この懇話会の活動が何らかの形で役に立てれば幸いです。

皆様ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが就任の挨拶といたします。

(2)副会長の
選出

三浦会長

それでは、引き続きまして、副会長2名の選出でございます。
副会長は、互選で定めることとなっておりますが、私をサポートしていただく職ということで、よろしければ私の考えを述べさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員

(各委員 同意)

三浦会長

ありがとうございます。
それでは、私の案ですが、これまで副会長を務めていただいた実績から、木村健一委員と佐藤秀臣委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
よろしければ、拍手でご承認いただければと思います。

各委員

(会場 拍手多数)

三浦会長

ありがとうございました。それでは、副会長は、木村委員と佐藤委員に決定いたしました。
お二人は副会長席へお移り願います。

(木村健一副会長、佐藤秀臣副会長 副会長席への移動)

三浦会長

それでは、木村副会長と佐藤副会長から、順番に一言ご挨拶をいただきたいと思えます。最初に木村副会長からお願いします。

木村副会長

指名いただきました木村でございます。三浦会長を支えるという立場で、副会長職を努めたいと思っておりますので、皆さんよろしくお願い致します。

今、企業局長それから会長からもございましたが、現下の状況が、従前より色々な課題を企業局に、より強く影響を及ぼしている状況でございますけれども、上下水道事業については、国内で一番古くて堅牢なシステムを長らく構築してまいりましたし、交通部に関しても、東京以北で初めて路面電車を開通し、その後、長らくそのサービスを維持してきたという非常に素晴らしい経営をされてきて、それを今後も継続持続的に行っていくということについて、この場では議論していくものだと理解しております。

冒頭申し上げたように、非常に社会的には厳しい状況を突きつけられている訳ですけれども、企業局の皆様は技術者集団ということで、誠実にこの業務に取り組みしていると認識しておりますので、それを応援するという立場でこの副会長職を務めさせていただきますので、皆様も三浦会長のもと、活発な議論提案、これまでもございましたので、今後ともそのようにしていただければと思っております。

何卒よろしく願いいたします。

三浦会長

ありがとうございます。それでは、佐藤副委員長から一言、お願いします。

佐藤副会長

副会長に指名されました佐藤秀臣です。どうぞよろしくお願い致します。
函館市が今年、市制施行100周年ということで、色々なイベントがありましたけれ

ども、改めて歴史のあるこの函館市において、企業局が、色々と果たしてきた役割は、非常に大きなものがあるのだろうと考えております。

そのような中、最近のことで非常に気掛かりなことは、温暖化ということで気候変動が非常に激しくなっておりまして、先日の大雨では住宅浸水や農産物の被害が起き、市民生活に大きな影響を与えておりました。私も8月8日の夜は、浸水があったという連絡があり、急いで駆けつけたり、翌日、被害があったところで色々と撤去作業をしたり、大変な思いをしましたが、そういった影響が各地で起きておりました。

上水道や下水道、そして市民の足となる電車は、市民にとって必要不可欠なもので、そのようなライフラインを守って継続していく業務が企業局でございますので、市役所の中で、最も市民に寄り添った業務だと私は認識しております。そういった観点からも、懇話会が有意義な議論の場となるよう、忌憚のない意見を出し合いながら活発な会議になれば良いと考えております。

副会長として会長をサポートする立場でございますので、皆様方のご協力をいただきながら、進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

三浦会長

どうもありがとうございました。

(3)経営ビジョン中間評価と今後の取り組み

三浦会長

それでは議事を進めていきたいと思っております。

(3)の函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの中間評価および今後の取り組みについて、本件につきまして事務局からご説明をお願いいたします。

経営企画課長

函館市上下水道経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの中間評価と今後の取り組みについてご説明いたします。

各経営ビジョンは、総務省が公営企業に対して策定を推進している中長期的な経営の基本計画となる経営戦略として位置付けて、平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間として策定したものでございます。

また、総務省は経営戦略の策定後につきまして、進捗管理や一定期間の検証などを行い、その結果を踏まえて定期的に見直すことも推進しております。

企業局の各経営ビジョンは、令和3年度、昨年度をもちまして、計画期間の前期5ヶ年が経過をしておりますことから、今年度は中間評価を行い、各経営ビジョン改定することとしております。

本日、令和4年度第1回目の経営懇話会におきましては、令和3年度に行った各施策の進捗状況の評価、前期5ヶ年の中間評価、また、今後の取り組みについてのご説明等をさせていただき、委員の皆様からのご意見などをいただきながら、改定を進めていきたいと考えてございます。

スケジュール等説明

<資料 18～20ページに基づき、説明>

経営企画課長

ご説明は以上でございますが、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、期

間の短いスケジュールになっておりますが、ご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ここまでの内容について、ご質問などはございますか。
よろしいでしょうか。

(発言無し)

中間評価と今後の取り組み報告

経営企画課長

それでは次に、各経営ビジョンにおける施策の令和3年度の取組状況と中間評価、今後の取り組みについてご報告いたします。

まず、はじめに上下水道事業からご報告いたします。21ページは後ほどご説明いたしますので、22ページをご覧ください。こちらの資料は左から1列目が経営ビジョンの基本方針、2列目が施策目標、3列目が主要施策、4列目が令和3年度の取組状況、5列目が計画前期の取組状況、6列目が年度別評価でございます。令和2年度までは、懇話会でもご報告しております、これまでの評価となっており、令和3年度のところが新たに評価したものでございます。年度別評価の基準は前の21ページの右下に表記してございますが、過去の評価の大方がBで、概ね計画通り進んでいる状況となっております。7列目が中間評価でございます。年度別評価は主要施策ごとの評価としておりましたが、中間評価は施策目標ごとに評価をしております。8列目は中間評価の理由です。最後の列が計画後期の見通しと取組みでございます。

中間評価の基準につきましては下段に表記してございます。年度別評価のA、B、Cと区別するためローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲとしております。評価はⅠが目標を上回った、Ⅱが一定の進捗があった、Ⅲが進捗が遅れた、Ⅳが進捗が著しく遅れた、横棒が評価なし、としております。

本日は、特徴的な取組みを中心にご報告させていただきます。

<資料 21～30ページに基づき、報告>

以上が上下水道事業の中間評価と今後の取り組みの報告でございます。

計画企画課長

引き続き交通事業経営ビジョンの中間評価と今後の取り組みについてご報告いたします。

<資料 31～36ページに基づき、報告>

以上が交通事業の中間評価および今後の取り組みについてとなり、各経営ビジョンの中間評価および今後の取り組みの報告とさせていただきます。以上でございます。

三浦会長

どうもありがとうございます。ただいま事務局からご報告がありましたが、本件につきまして各委員からご質問等ございましたら、よろしくお願いたします。

いかがでしょうか。

森元委員

評価なんです、AとかBとかありますけれども、これは誰が評価をしてるのでし

ようか。

経営企画課長

A, Bなどの評価につきましては、企業局が評価をいたしまして、懇話会に毎年度ご報告させていただいているところでございます。

森元委員

企業局の評価といいますと、各事業毎に取りまとめたものを、企業局が評価するという形なのでしょうか。

経営企画課長

各施策毎に、今回は簡略化して令和3年度の取り組みを記載しておりますけれども、毎年度、令和2年度まではもう少し詳しく実施したことなどを記載しております、それらをまとめて、その年度の主要施策毎に評価しているところです。

森元委員

あまりにもBが多いものですから。ほとんどB評価になっていますので。B評価というのは結構便利な評価で、一生懸命努力してBまで持ってったよというのがほとんどでしょうけれども、そういうのもあれば、Cだとちょっと見た目が悪いからBにしておこうかというものもB評価になりますし、どうもそういうようなところが反映されているのではないかと感じるのですが。もうちょっとシビアな評価はできないものなのでしょうか。

経営企画課長

評価にあたりましては、評価の基準を定めておりまして、基本的には実施できなかったもの、Cなどを付けるものが今回はなかったため、我々とすれば予定通り行ったということで、Bとさせていただいたところです。当然これからも、予定と違う内容や予定通りできない場合は、当然CだとかDを付けていかなきゃならないと思うのですが、今のところは、ビジョンの期間を見通した中では、予定通り行われたと考えております。

森元委員

わかりました。

三浦会長

よろしいですか。評価の関係は最近Bが多いというのは確かに指摘された通りございますよね。ただし、10年ぐらいの間を見ますと、早期の段階ではまだ達成できなかったような事例も結構見られまして、Bじゃなくて、もう少し厳しい評価が続いた時代もあったように記憶してます。最近はそのようなものは企業局の努力もありまして、予定したものは概ね達成してるというところになったと私は理解してます。厳しくチェックする必要があるかもしれませんが、現状は時系列で見るとそういう実態です。

他にございますか。

山本委員

最近、電車に乗りますと相当利用者が回復してると思うんですね。それで今後、計画を修正するというようなことありますか。

それともう1つ。今回の大雨で、相当川が荒れたんですね。山もそうですが。水源はがけ崩れとかで相当大変だったと思います。特に水源池の新中野ダムは、ゴミ等が流れてきて大変だと思うんですね。そういうものの整備費の予算はみえていますか。以上です。

経営企画課長

まず、交通事業の経営の見直しですけども、冒頭申し上げた通り、今回の中間評価と現状をもちまして、令和4年度からの後期5ヶ年の計画の見直しを進めているところです。その中で、おっしゃっているのは財政状況だと思いますけれども、当然この

部分も今の状況を踏まえて、一定程度考慮していかなければならないと考えておりますが、今年度の状況でございますと観光客の戻りもかなり回復している状況でございますので、その辺の実績など、もう少し様子を見ながら、それを反映させた形で財政計画も立てていきたいと考えております。水源の話につきましては、担当からお答えさせていただきます。

浄水課長

この度の雨でダムには、非常に濁水などが入りましたが、今ご指摘いただきました新中野ダムに関しましては、北海道が管理しているダムとなりますので、そういった流木などがあった場合には北海道が対処することになりますが、ダムの性質上、流木などは数日で沈むのが一般的でございます。今回におきましても大きな工事などで取り除くというようなことは聞いてございません。

また、企業局が管理する笹流貯水池にも濁水は入ってきましたが、現在は川の濁りも回復しております。同じく流木などにつきましては除去が必要なような状況ではございません。また、山の方に関しましては企業局で所管しております水源涵養保安林につきましては、大きな崩れ等もなく、無事に過ごすことができたと確認しております。以上でございます。

三浦会長

よろしいですか。他にございますでしょうか。

もう、ご質問等はないようですので、本件につきましては、終了したいと思えます。委員の皆様にはお忙しい中と承知しておりますが、各経営ビジョンの中間評価および今後の取り組みに関わるご意見を提出していただきたく、よろしく願いいたします。

また、本日の報告等で改めて疑義が生じた場合など、事務局で質問を受け付けるということなので、質問等ございましたら事務局に連絡願います。それでは本件については終わりたいと思えます。

7 その他

三浦会長

次に、7のその他になりますが、各委員から何か、その他でございますが、特にごございませんようですので、本日の会議日程は以上となります。

経営企画課長

三浦会長申し訳ございません。事務局から1点ご報告事業がございまして、よろしいでしょうか。

三浦会長

どうぞ報告してください。

経営企画課長

本日ご報告させていただくことにつきまして、既に新聞などで報道されておりますが、コロナ禍における物価高騰等緊急支援対策、函館市として実施する対策の1つでございます。水道基本料金の免除についてですが、担当課からご報告させていただきたいと思えますのでよろしく願いいたします。

料金課長

この度のコロナ禍における物価上昇対策による水道基本料金の免除についてですが、家庭用の水道料金のうち、基本料金を4ヶ月免除することといたしまして、対象件数は約12万件でございます。免除金額は昨年同時期より推計しましたところ、5億4,500万円を見込んでございまして、これらにつきましては全額一般会計からの繰入となります。また、免除期間につきましては、令和4年11月検針分から令和5年2月検針分までとなります。1件当たりの免除額になりますが、口径13mmで3、

124円。口径20mmで4,884円となります。以上でございます。

三浦会長

よろしいですか。他にございませんようですので、日程は以上となります。
それでは、この先の進行は事務局の方にお返し致します。

8 閉会

経営企画課長

三浦会長ありがとうございました。

以上で本日の日程は全て終了となりますが、本日の会議録につきましては、この後、事務局にて案を作成いたしまして後日各委員に郵送させていただき、ご確認いただく形で作成してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

それでは、以上で令和4年度第1回函館市企業局経営懇話会を閉会致します。

本日はありがとうございました。